

令和2年度 珠洲市立正院小学校 中期学力向上プラン

プラン名 ^{きわめる} 極・ホップステップジャンプとダブルジャンプの二刀流（たしかめよう－5％・活用する力みるシート平均以上）

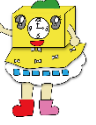
12か条+（プラス）
2条 8条

1 授業づくり

(1) 現状と課題 (R)

課題	現状（科学的データ）				
活用力アップに向けた取組を十分に行えた。そのため、活用力は向上しつつある。 教師が児童とのやりとりから、既習を確認できていない。だから、児童自身が、どの既習を使うか、正確（根拠をもと）に記述できない。	令和2年度 前期学力向上プラン 授業づくり				
	評価項目				評価（結果）
	たしかめようテスト	1・2年対象 各学年	前年度同一母集団 ベネッセ活用力	1年 2年	1年 2年
	活用する力をみるシート	3～6年対象 各学年	平均 約－5％	3年 4年 5年 6年	3年 4年 5年 6年
	活用する力・問題解決の力をみる問題	各学年	前年度同一母集団 約－5％	1年 2年 3年 4年 5年 6年	1年 2年 3年 4年 5年 6年
		全学年	領域別正答率	75%以上	
	ダブルジャンプ取組	各学年	前年度年間平均 約－10%	70%以上	
	研究授業	3段階B評価	前年度年間平均 約＋10%	60%以上	
	振り返りシート	3 ズバリ強肯定	前年度3月平均 約－5％	85%以上	
	令和2年度 前期学力向上プラン 基盤づくり				
	4月 筆箱の中身をそろえる子		6月 時間いっぱい取り組む子（次の準備）		1学期
	5月 ていねいな字を書く子		7月 時間いっぱい取り組む子（終わりのチャイム）		
令和2年度 全国学力学習状況調査・県基礎学力調査（自校採点）					
全国算数（6年）	平均正答率（16問）		県算数（4年）	平均正答率（22問）	
	活用のみ（7問）			数学的な考え方（8問）	
	記述式（4問）			記述式（3問）	
【要因】 ◎プランの取組を確実に実行できた。前年度課題だったダブルジャンプ問題の取組を、全学年全単元で取り組むことができた。 ◎活用力問題（たしかめようテスト、活用する力をみるシート、活用する力・問題解決の力をみる問題）において、ほとんどの学年で目標を達成した。 ◎全国学力調査では、平均正答率と活用をみの問題の正答率の差が小さく、得点が高い。 △研究授業において、本時に関わる既習（ズバリ）を、児童とやりとりの中で、出すことができなかった。 △振り返りシートから、既習（ズバリ）を意識し、取り組むようになってきているが、十分とは言えない。 △4年県基礎学力調査では、2／3を選ぶ問題やグラフを読み取り数値を根拠に、正しくない理由を記述する問題が弱かった。					

(2) 計画と実行 (P・D)

中期目標	具体的取組
教師が児童とのやりとりの中から、どの既習を使うか、正確（根拠をもと）に記述することができる。 前期最終共通実践【つまづいた時に戻れるズバリと学ボード】	前期プラン【継続】 ③本時のねらいに合わせて、「お手本しずこ」と「どーなつボード」を使う。 ④単元末に、活用力アップに関わる「ダブルジャンプ問題」に取り組む。 前期プラン【修正】 ②既習を学ボードと学習掲示版に貼る。 ①学ボードや児童とのやりとりから、既習の活用（ズバリボード）を、明確化する。 3年 算数 かけ算の筆算（1） 【問題】 1mのねだんが312円のリボンを、3m買います。代金はいくらですか。 今までの学習が使えないかな？ どのように計算していたかな？ 学ボード $\begin{array}{r} 23 \\ \times 3 \\ \hline 69 \end{array}$ 位ごと 九九 

評価項目				評価（結果）
たしかめようテスト	1・2年対象 各学年	前年度同一母集団ベネッセ活用力 平均 約－5％【数値維持】	1年 2年	
活用する力をみるシート	3～6年対象 各学年	前年度同一母集団ベネッセ活用力 平均以上【数値変更】	3年 4年 5年 6年	
活用する力・問題解決の力 をみる問題	各学年	前年度同一母集団 平均以上【数値変更】	1年 2年 3年 4年 5年 6年	
	全学年	領域別正答率 【数値維持】		
ダブルジャンプ取組	各学年	前年度年間平均 【数値変更】		
研究授業	3段階B評価	前年度年間平均 【数値維持】		
振り返りシート	3 ズバリ 強肯定	前年度3月平均 約－5％ 【数値維持】		

(3) 検証と改善策 (C・A)

月	評価項目（誰が、いつ）	結果	改善策
9	☐ 活用する力をみる・問題解決の力をみる問題（学担，第5週）		
	☐ 振り返りシート（学担，検証・検証支援，第5週）		
10	☐ 研究授業 坂東（全員，22日）		
	☐ 活用する力をみる・問題解決の力をみる問題（学担，第5週）		
11	☐ 振り返りシート（学担，検証・検証支援，第5週）		
	☐ 活用する力をみる・問題解決の力をみる問題（学担，第5週）		
12	☐ 振り返りシート（学担，検証・検証支援，第5週）		
	☐ 研究授業 門前（全員，11日）		
	☐ 活用する力をみる・問題解決の力をみる問題（学担，第4週）		
	☐ 振り返りシート（学担，検証・検証支援，第4週）		
	☐ ダブルジャンプ取組（学担，検証・検証支援，第4週）		
	☐ たしかめようテスト・1・2年（学担，検証・検証支援，第4週）		
	☐ 活用する力をみるシート・3～6年（学担，検証・検証支援，第4週）		

2 基盤づくり

中期目標	具体的取組	評価	
返事ができる姿と 相手に伝えようと話ができる姿を 高める。 （学校全体・各月85%以上）	【継続】 ・生徒指導主事が，集会で良い姿の大切さを指導する。 ・児童会運営委員会担当が，委員会活動で月目標に反映させる。 ・学級担任が，強化日（毎週火金）に，児童に自己評価させる。 【変更】 ・めざす正院っ子の姿をできるだけ具体化する。	9月	
		10月	
		11月	
		12月	
		2学期	